

懐風館高校 令和5年度第2回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和5年11月17日（金） 14:00～16:00

2 出席委員 4名

大関会長 松村委員 阪本委員 井上委員

3 授業見学 14:00～14:30

1年生・・・保健 2年生・・・数学Ⅱ 3年生・・・世界史B

4 報告及び協議記録 □・・・学校運営協議会委員 ▲・・・事務局

冒頭に3年生が作成した文化祭クラス劇の取り組み記録ビデオを鑑賞

＜令和5年度「学校経営計画」進捗状況について＞

▲校長より

授業力向上のための取り組みについて、年2回の研究授業と公開授業の実施、ICT活用に係る教員研修など概ね計画通りに進んでいる。ICT活用は働き方改革の項目の一つであり、先進校を訪問してノウハウを学び本校バージョンを構築。連絡掲示板や生徒の欠席連絡などを端末を通じて行うことにより教員の業務負担の軽減を図っている。

「面倒見のいい学校」であるための教育相談体制の充実については、今年度よりSSWを配置し、SCとともに生徒のカウンセリングやカンファレンス会議で助言をいただくなど有効に活用している。また、保育園、福祉施設における実習や交流活動などの地域連携も計画通り実施できている。次年度の募集人員が現行と同じ6クラス240人と決定した中、いかに次年度の志願者数を増やすかが今後の課題である。

＜協議題「懐風館高校に求めるもの～より魅力ある学校であるために～」＞

□授業の様子や文化祭取り組みのビデオを見ると、懐風館の生徒はパワーがあり、学校生活や行事において前向きに取り組み、達成感を感じている様子がよくわかる。こういう魅力ある部分を中学生や保護者に伝えることが大切ではないか。

□懐風館高校が志願者割れしている主な要因は、私学との競合があるからではないか。私学は早い時期から部活動での勧誘や体験入学を実施し、志願者の確保に努めている。授業料で公私の差がなくなり、綺麗な校舎や施設を見て早い時期に私学に決める中学生が増えており、ここ数年私学の専願率は高く推移している。懐風館高校も部活動の体験入部等の時期を早めてはどうか。

▲個々のクラブでは中学校と交流しながら部員の勧誘を行っているが、学校全体での体験授業や部活動体験の時期については今後検討する。

□懐風館高校の進路実績を見ると就職や進学の出路保障がしっかりできていることがわ

かる。先生方が粘り強く進路指導や生徒指導を行っている結果だと高く評価できる。

▲ 1年生で進路や生徒指導などにより、高校生としての意識や方向づけをどこまで行えるかをキーポイントとして指導に取り組んでいる。

□志願者割れすると教員の取り組みもネガティブなものになりがちだが、懐風館高校には他校にないいいところがたくさんあることを誇りにして、積極的に外部にアピールしてほしい。教職員の熱意と頑張りは生徒に必ず伝わるはず。今後も一人ひとりの生徒しっかりと育てる、今以上に「面倒見のいい」学校であるための取り組みを教職員一丸となって進めてもらいたい。